

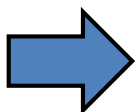
市長と話そう！
令和4年度 市政懇談会
～あつやトーク～

令和4年5月
夕張市

夕張高校魅力化プロジェクトの概要①

背景

- 市内唯一の高校である道立夕張高校の生徒数が減少
- 子どもたちが減ることによって「まちの活気」が失われる
- Uターン、移住者の減少
- 廃校となった場合の子育て世帯流出の懸念 ○住民生活に直結する問題



廃校となった場合のまちの未来に危機感を持った有志の市職員でWGを立ち上げ、魅力化プロジェクトの検討を開始

魅力化プロジェクトの検討実績

- 平成27年にワーキンググループを発足し検討を開始。
- 資格取得の半額助成や部活動支援などについて市長へ提言し、平成28年度予算化。
- 平成28年度財政再生計画の抜本的見直しで市の主要施策として位置付ける。
- ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを実施（約2,300万円の寄附）

夕張高校は絶対になくさない！日本が直面する課題を学ぶフィールドとなるために。
～夕張高校魅力化プロジェクト～



〈参考データ〉

- ★夕張高校全校生徒数
H24: 156名、H27: 110名、H30: 66名、R3: 53名、R4: 51名
- ★夕張中学校からの進学率
H24: 84% (52名/62名)、H27: 57% (37名/65名)
H30: 68% (27名/40名)、R3: 45% (15名/33名)
R4: 60% (18名/30名)
- ※平成27年度アンケートにて、夕張高校進学を希望する中学生は「30%」
- ★夕張市人口推移
H24: 10,390人、H27: 9,205人、H30: 8,211人、R3: 7,145人
※住民票基本台帳各9月末時点

夕張高校魅力化プロジェクトの概要②

主な事業内容

■ チャレンジ補助金 (H28～)

- ・生徒が受験する各種資格検定試験や模擬試験等に係る受験費用の半額助成のほか、学校が実施する課外活動、教科活動及び高校のPR活動等に要する費用の補助を実施。

■ 入学支援金 (H30～)

- ・入学時必要となる制服、体育用具及び教科書や副教材の購入費用の一部を助成。(上限10万円)
- ・令和4年度からは、タブレット端末購入費用の一部助成を追加。(上限3万円)
- ※令和6年度までの3年間を予定。

■ 公設塾「夕張学舎キセキノ」(H30～)

- ・高校生の学力向上及び目標進路の実現並びに社会で活躍できる人材を育成し、多様な学びと交流を通して「次の社会のカタチ」を探求することを目的とし開設。
- ・令和3年度より民間事業者へ業務委託し、生徒一人ひとりに合わせた通塾スケジュールに基づき、マンツーマンでのオンライン授業や現地講師による個別の学習指導等を実施。
- ・利用料は月額 3,000円



公設塾「夕張学舎キセキノ」



オンライン授業



個別指導

■ 海外短期留学 (H30～)

- ・小中学校から通じて学んだ英語やコミュニケーション能力を活かす実践の場として、海外での語学研修・ホームステイを経験し、グローバル人材の育成に寄与。
- ・留学先はハワイ(H30,R1)、オーストラリア(R4～)
- ※ R2,3は新型コロナウイルス感染症の影響により事業見合わせ。



海外短期留学①



海外短期留学②

■ マンツーマンオンライン英会話 (H29～)

- ・小中高一貫した英語教育として、タブレット端末を活用したオンライン英会話を実施。
- ・高校においても年間20回程度実施しているほか、海外短期留学の予備学習としても活用。



オンライン英会話①



オンライン英会話②

★ 事業の成果

英検2級などの各種資格取得や国公立大学進学など生徒の希望進路実現に加え、地元進学率の増加にも繋がっていることから、一定の成果が出始めている。

夕張高校魅力化プロジェクトの概要③

今後の取り組みについて

- 夕張高校は地域連携特例校に認定され、魅力化に取り組みながら存続を図ってきたが、市内児童生徒数の減少に伴い高校入学者数も減少傾向が続き、再編整備の選択を迫られる新たな局面を迎えています。
- 夕張高校の存在は将来における夕張市の存続をも左右する問題と考え、全庁的な検討体制を整えるとともに夕張高校と協働し、夕張高校ならではの特色ある授業を企画するなど、今後、本取り組みについて、高校関係者のみならず、小中学校をはじめ、地域一丸となって更に加速させていきます。
- 授業におけるフィールドワークや、市外からの生徒を受入れる体制づくりの検討など、**市民の皆さんの協力**が必要です。
- 今後は概要④のとおり、**新たな組織体制を構築**し事業の推進を目指していきます。

★高校再編整備

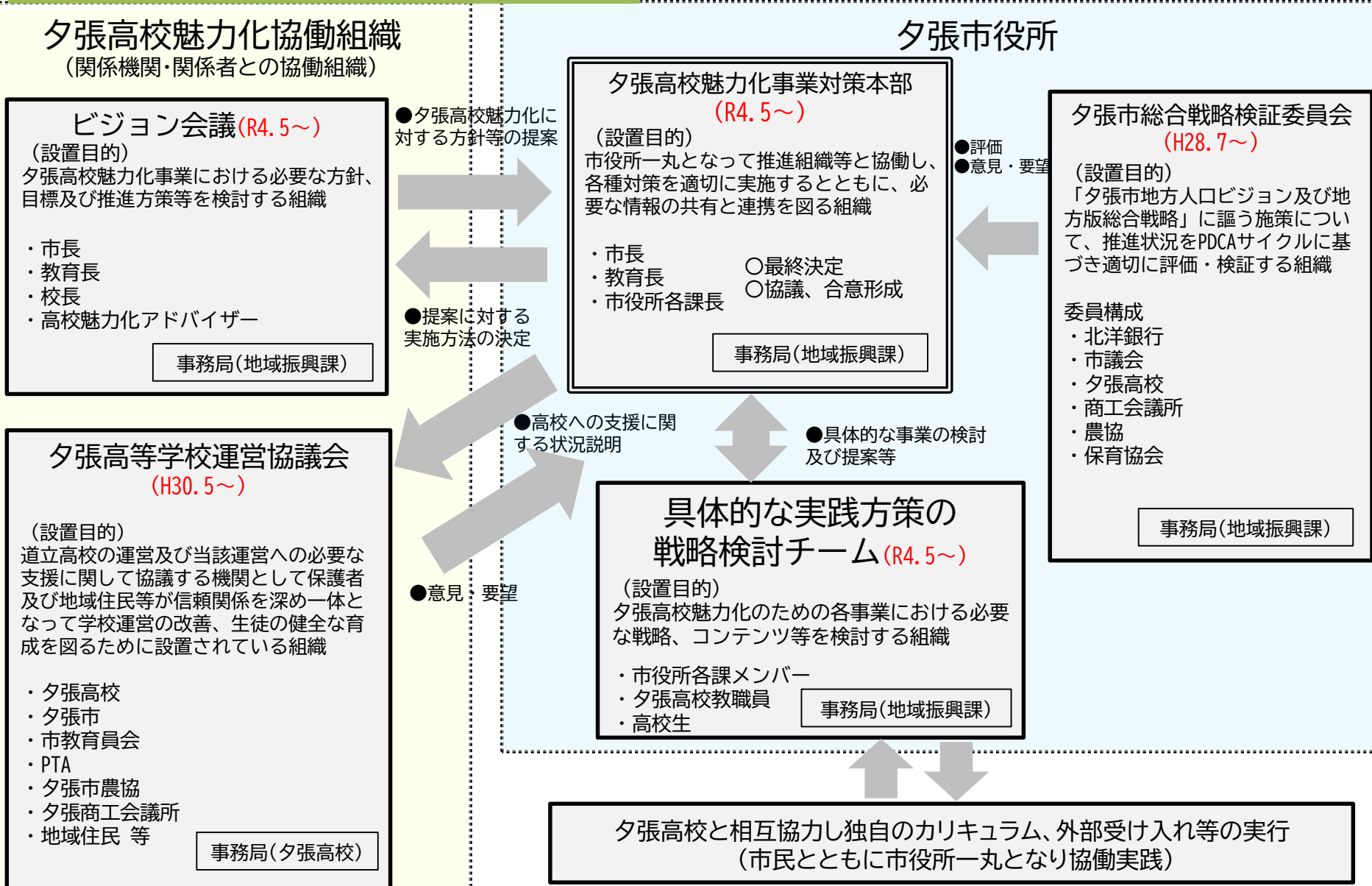
地域連携特例校は、5月1日現在の第1学年の在籍者数が20人未満となり、その後も増加が見込まれない場合に、再編整備（廃校）の対象となる。但し所在市町村をはじめとした地域における高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘定した上で、再編整備を「**留保**」することができる。

★再編整備留保の状況

南空知11校中、月形高校が令和2年度から留保されている。現在夕張高校については、道教委に対して再編整備留保を申し出ている。

夕張高校魅力化プロジェクトの概要④

夕張高校魅力化 推進体制組織図



※適宜、専門知識を有する高校魅力化アドバイザーから助言をもらう